

# 一枚のポスターで始める地域活性コンテンツ『<sup>マルマル</sup>〇〇ニッポン!』のご案内

(オーナーシップ募集)

突然のご案内で失礼いたします。

当社は全国で展開されている人気ローカルメディア『美少女図鑑』を運営しております、テクスファームファウンデーションともうします。1998年の創業以来一貫して『COOL LOCAL』をスローガンに、地域コンテンツのプロデュースをしてまいりました。

『美少女図鑑』は、全国の道府県それぞれでロケ撮影して作られる写真集で、各地の地元生活者をモデルに、地元カメラマン、地元デザイナー、地元ヘアメイクアーティスト、地元編集者が一体となって作る、いわば「オール地元体制」の地域メディアとして、特に若年層の支持を集め、NHK『クローズアップ現代』など多くの報道番組で大きく特集されるなど、文字通り一世を風靡しました。

このたび当社では、その美少女図鑑に続く、新たな地域メディアとして、全国の市町村単位、あるいは商店街や通り会、町内ごと、商業施設ごと、同好会やサークル単位でもご利用可能な『<sup>マルマル</sup>〇〇ニッポン! (「〇〇」の中に、商店街の名前や地域名、施設名、団体名などが入ります)』を発表いたしました。今回はそのご案内および各地域でのオーナーシップ募集のため、このような形で関連資料一式をお送りさせていただきました。

『<sup>マルマル</sup>〇〇ニッポン!』は、「一枚のポスターから始まる、日本を元気にするプロジェクト」、「街の女の子の笑顔が、日本を元気にする」をスローガンに、地域に住む若い人たちの力で地域の活性やPRを目指す活動です。

既に沖縄県那覇市『オキナワニッポン!』、石垣島(石垣ニッポン!)、大阪(アメ村ニッポン!)、神戸(北神戸ニッポン!)、東京(下北ニッポン!、コマエニッポン!)、山形県新庄市(シンジョウニッポン!)などでスタートしていて、それぞれ話題になりつつあります。

同封の資料、および裏面の最新事例レポートなどをご覧いただき、ご興味を持たれましたらいつでもご遠慮なく、当社までご連絡ください。

皆様のご繁栄をお祈りいたしつつ、ご連絡お待ちしております。

テクスファームファウンデーション 近藤大輔

# 沖縄での事例集

『オキナワニッポン!』を運営するのは、沖縄県那覇市で、職場の活性化支援や学生・社会人のキャリア自律支援等を手掛ける 特定非営利活動法人沖縄人材クラスタ研究会さん。「住んでよし、訪れてよしの島、おきなわ」を目指し、地域資源や人材の発掘、育成、連携活動をしています。その中で今回は特に、この活動を通して「沖縄の職場環境や街角を明るくしよう」というテーマで取り組んでおられます。

沖縄での事例を下記の通りまとめました。

YAHOO! ニュース JAPAN

トップ 速報 写真 映像 雑誌 個人 ビジネス 特集 意識調査

主要 国内 国際 経済 エンタメ スポーツ IT・科学 ライフ 地域

北海道・東北 関東 信越・北陸 東海 近畿 中国 四国 九州・沖縄

## 沖縄女子の笑顔、ポスターに 人財クラスタが明るい街応援で無料配布

沖縄タイムス 11/20(日) 9:35配信

職場の活性化支援に取り組むNPO法人沖縄人材クラスタ研究会（那覇市、白井旬代表理事）や「沖縄美少女図鑑」などのフリーペーパーを手掛けたテクスファームファウンデーション（新潟市、近藤大輔社長）、看板の設置製作をしているタム（糸満市、伊藝博代表取締役）はこのほど、「沖縄のオンナノコ」の笑顔を書したポスターを職場や街角に張って明るくする「オキナワニッポン!」プロジェクトを始めた。

第1弾として、プーゲンピリアを背景に那覇市在住

ポスター「オキナワニッポン!」を制作した（左から）テクスファームの西原伸也プロデューサー、沖縄人材クラスタ研究会の白井旬代表理事、タムの伊藝博代表取締役＝ロ日、那覇市のホテルサンパレ

YAHOO!JAPAN!ニュース掲載



独自の取り組みとして、地元の看板施工企業「タム」と連携し、那覇市中心部に「オキナワニッポン!」特製看板を設置。那覇市中心地の目抜き通りでもアピールを図っていくそうです(看板デザインは2〜3ヶ月ごとに更新予定)。



設置先も豊富。地元生活者にも、観光客にも大人気のハンバーガーチェーン「A&W」全店(約30店)に設置。今後も設置店を増やしていく計画とのこと。



早くも地元メディア(沖縄タイムスなど)に取り上げられ、話題になっています。



「オキナワニッポン!」運営  
白井さん (特定非営利活動法人 沖縄人材クラスタ研究会)

実際に活動してみて一番強く感じたのは、生活者にとっての当団体が、それまでより「身近に感じてもらえるようになった」ということがありますね。当団体の存在は、組織・構成がNPO法人ということもあり、「真面目で、どちらかという硬い＝自分たちにはあまり関係ないもの」というイメージがあったように思うのですが、それが「オキナワニッポン!」を始めてみるとすぐに「面白いことを始めましたね」という声をかけてもらったりと、それを実感しています。

また、これまで我々は「人材育成」に特化し活動してきましたが、これをきっかけに、さらに「地域活性にもつなげていけそう」という新しい展開・方向性も見えてきました。

それと同時に意外だったのは、東京の得意先でこの企画の

話をしてポスターを渡しておく、都内にある沖縄に関連するお店や企業にも紹介してくれているようで、その先でも好意的にとらえていただいて...と、我々も知らない間に話題がひろがっていていることに驚きました。

今後は、同じコンセプト・イメージを活用してカレンダーなどにも派生、展開していけたらと思っています。カメラマン募集にも多数の応募をいただいているので、積極的に採用、参加していただき、将来的には「オキナワニッポン! 写真展」なども開催できたら、と企画しているところです。

将来的にはこのオキナワニッポン!の活動を沖縄県下、離島含めた市町村単位、あるいは商店街単位などにひろげ、その輪を大きくしていきたい、と考えています。